

弘前藩日記目録 (七)

弘前藩政史研究会

(延宝四年十二月)(三日)

6. 孫右左衛門宅へお出で、未刻諸事相済可申旨仰出さる
 7. 14 使者接待の順序次第について
 15. 38、使者接待の諸事御定
- 四壬子日 昼雪
1. 久保田よりの使者へ鷹の鷹を下さる
 2. 右の返書
 3. 外記の息子病氣につき、見舞の使者を遣わす
 4. 文昌院へ使者
 5. 長内理左左衛門の隠居願を許可
 6. 誓願寺本堂の破損を修理
 7. 戸田六右左衛門の番入願を許可
 8. 永山助左左衛門を本参組へ入れる
 9. 工藤佐五右左衛門に作事方勤務を命ず
 10. 勘定仕笹塚五右左衛門の知行没取
 11. 蓑庵へ遣わす銀子の額
- 五癸丑日 晴
1. 仏殿にて祭礼
 2. 3. 7. 長勝寺へ仏参、歸路文昌院へ立寄る
 8. 9. 小人頭の任命
 10. 前髪取の許可

六甲寅日 昼雪

1. 鷹の鷹を献上
 2. 3. 大事左書物を主膳らへ下さる
 4. 又兵衛らの病氣見舞
 5. 蓑庵へ白銀三十枚
 6. 7. 樋口右左衛門宅へお出かけ
- 七乙卯日 雪
1. 式日寄合
 2. 論語の講習
 3. 江戸へ飛脚出発
 4. 文昌院・玄蕃へお出かけ
- 八丙辰日 雪
1. 文昌院へ使者
 2. 外記の病氣見舞
 3. 羽黒山左左衛門院、奉加のため来弘
 4. 三日市大夫次郎方へ初尾として銀子五枚遣わさる
 5. 鈴木彦兵衛、山見立、入精に指南につき時服銀子を
 6. 工藤半左衛門、長の病氣故、役目辞退
 7. 狐面一面献上
 8. 御室の内、御書箱を木村奎之助へ下賜
- 九丁巳日 雪

1. 盛岡主膳を老中へ出かける

2. 帯刀へお出かけ

3. 鷹の鴨を献上

十戌午日 賜

1. 能の上演

2. 文昌院へ使者

3. 6. 料理の節の相伴

7. 能終つて祝儀下さる

十一己未日 雪

1. 文昌院へり使者

2. 目付役を任命

3. 文昌院へ

4. 面上寺の守札

5. 世再勘解由左内内の病氣による役目辞退を慰留

6. 足輕目付の在々へ出張の際の賄につき申渡す

十二庚申日 賜

1. 式日寄合

2. 式日論語

3. 鷹の鴨を献上

4. 狩斗目小袖等玆右内内へ下さる

5. 戸田左五兵衛の誓詞あり

十三辛酉日

1. 5. 3. 取

4. 文昌院より使者

5. 文昌院へ使者

6. 江戸より兵服荷物等到着

7. 奉書一通到着

8. 5. 10. 在男弥右内内御燂取の竟(三)

十四壬戌日 賜

1. 仏殿にて祭礼

2. 5. 5. 長勝寺へ仏参

十五癸亥日 雪

1. 恒河の御礼

2. 大湯五郎兵衛忌辰

3. 唐牛与右内内妹中川小隼人方へ祝言詢える

4. 中西清右内内の金子を先主との約束通りに命ず

5. 庄兵衛病氣本服登城

6. 百次寺、文渡寺の守札

7. 小見山元益へ江戸より水仙花

8. 文昌院へ

9. 文昌院へ例年の如く小袖を進上(目錄)

10. 御礼の使者

11. 狩場の雉子を五兵衛へ進す

12. 鷹の鴨を進上

13. 山鳥十を小姓組へ

14. 御座向坊主横島らへ切米三兩二人騎扶持を下さる

十六甲子日 昨夜雨及今卯刻

1. 文昌院へ使者

2 神安右征内らへ加恩金子三両下さる

3 岩判彦次郎病氣故役銀差上たき願を許可

4 三上十兵征の家来長四郎悪事あり斬罪を申渡す

5 病氣の藩士よりの役儀赦免願を許可

6 山中六左征内組足輕柏木村兵左征内の親不屈追放

7 皮屋吉兵征に合力米を支付

8 張付屋惣三郎弟子長次郎へ米五俵を加増

9 ぜんごの依兵征へ入精につぎ十二俵宛加増

10 台屋市右征内へ三十俵

11 渡岡町頭の地子銀免除

12 金具屋与三右征内の伴に十二俵宛

13 松前工藤官兵征の米借用に対し、翌清五年の期限

十七日 吹雪

1 式日寄合

2 式日論語

3 文昌院より使者

4 橋要寺より守札

5 玄蕃ら登城

6 成田之馬之助、知行の書出を益まれ區差処分、犯人

尋ね出し救免さる

十八日 晴

1 文昌院へ

2 弥右征内へ病氣見舞の使者

3 おかのへ寒中の見舞

4 5 6 寺頭役を任命

7 新地主を本参に召直す

8 中小姓を任命

9 歩行組頭を任命

10 歩行目付を任命

11 御小姓目付を任命

12 藩士の跡役

十九日 晴

1 会津勘定を御覽

2 回上寺より守札

3 役儀の誓詞

4 石切佐左征内に加増

5 藩士の縁組許可

6 7 素庵・庄右征内へ料理

廿四日 晴

1 文昌院へ使者

2 外記へ病氣見舞の使者

3 御座岡坊主三人の誓詞

4 坊主相馬甚八、屋錦年貢赦免

5 藩士に役銀上納を命ず(病氣養生中の)

6 町奉行物書に五人扶持

7 寝美として米を支給された者

8 玄蕃り御相伴

9 外記ら不参

口一己巳日 晩

1. 加増された者の名簿

2. 依事奉行へ本丸に土蔵建設を命ず

3. 小知行組分五人に一人の小頭を加充割当て

4. 青森遠師頭へ五人扶持支給

5. 町奉行物書に任命した者や親の無調法により任命取消

6. 右の事情で、晴山市郎右江内の内記手前物書役を定む

7. 家中の諸士臆居願は六十以後、養子願は四十以後と定む

8. 鷹牛甚石江内の扶持切手を辞退

9. 秋元金左江内に米二十俵支給

10. 中小姓、歩行小頭、同目付の御目見

廿二庚午日 昼夜酉及七寸許

1. 式目寺合

2. 廻入の誓詞

3. 手廻組に命ぜられた者の誓詞

4. 一町田半六の誓詞

廿三辛未日 暁

1. 秦庵へ時賑進上

2. 回上寺より守札

3. 鷹の鶴進上

4. 江戸へ飛脚

5. 6. 帯刀等に領内における乗物を許す

7. 帯刀等に養生一篇晴手次才に登るべき旨

8. 傍島の目見願の許可

9. 褒美を下された者(依事方の面々)の一覽

廿四壬申日 暁

1. 久昌院より使者

2. 江戸より飛脚到着

3. 上野にて宝樹院の法事あり、香奠持参

4. 右について玉蔵参詣

5. 公方様へ参上

6. 公方様より正蔵へ宛わくられ、祝儀の在り家臣登城

7. 山本喜兵衛、老年談に役御免

8. 小倉主税召出され、跡役に命ず

9. 主税の跡役

10. 勤役の褒美下された者

11. 御加恩下された者の名簿

廿五癸酉日 暁

1. 仏殿にて祭祀

2. 3. 4. 報恩寺へ佛参

5. 堀伝左江門到着

6. 城内の屋形廻り、冬中は四圍に置くる

7. 歩行目付の者へ褒美

8. 小倉主税り役替

9. 石部岡伝九郎、病氣養生の中、御役銀を命ぜらる

廿六甲辰日 庵 仰下刺置祭

1. 橋雲寺より守札

2. 在右江内へ手紙

3. 庵のあいさを上げる

4. 江戸よりの蛇・密押を文昌院へ

5. 6. 今晚右蛇の料理、二汁七菜、相伴者名送

7. 8. 勘定所役人の永年勤務者へ褒美

9. 喜森獲目等へ二人扶持宛

10. 三師屋横目に対して褒美

廿七乙亥日 雪

1. 式日寄合

2. 中小姓頭らの役儀に兩する誓詞

3. 名替願

4. 式日論語

5. 文昌院より使者

6. 小見山元益へ御召小袖

7. 臘納庵の黒焼献

8. 素庵へ密押一箱進上

9. 深田儀左江内ら無調法あり、自分閉門のところ故免

廿八丙子日 晩夜雪

1. 在右江内登城対顔

2. 恒例の御礼

3. 在右江内病長本腹し登城

4. 次郎市妹の祝言済み、橋着上の御礼

5. 杉山武助模代上の祝言済み御礼

6. 傍島主水病後御着上の御礼

7. 文昌院へ

8. 9. 主膳らへ髪目小袖などを下さる

12. 元日より三ヶ日の間、二の郭の内を亥の刻で切る旨

13. 23. 役儀を無事勤めた者に褒美を下さる

24. 玄蕃ら歳暮を進上

25. 外記、十左江内病氣断あり

廿九丁丑日 雪

1. 5. 役儀を無事勤めた者に対し、褒美を下さる

4. 5. 物語中勘事行らの年始に髪目着田は自由

6. 文昌院への罷通りを許さるれる者

7. 9. 松浦次左江内らに上下一具を下さる

延宝五丁巳年正月

月番 盛岡主膳

一代寅日 晴

1. 正月行事

2. 24. 全じく正月行事 (二三)

二己卯日

1. 正月行事

2. 江戸へ飛脚

3. 13. 正月行事 (一一)

三庚辰日 晦

1518、正月行事（一八）

1、左在右内病氣

四辛巳日 晦

1、年繩納

2、10、素庵登城

3、15、節分行事

五壬午日 雪

1、仏殿にて祭礼

2、5、6、長勝寺参詣

六癸未日 晦

1、5、4、例年の通諸寺社御礼登城

2、6、その他（二）

七甲申日 晦未申刻風雪

1、七種祝

2、式日寄合

3、式日論語（他三）

4、5、24、之昌院へ年始祝儀進上

八乙酉日 晴

1、之経院へ（他二項）

九丙戌日 晴

1、5、3、寺社御礼登城

4、5、6、御目見

7、5、9、十一日御祝の事（）

10、諸山御守札

十丁亥日 晴

1、十一日御祝之事

2、5、8、之昌院に於て年始料理（七）

十一戊子日 晴

1、御具足祝

2、蓬萊出納

3、御目見

4、御祝頂戴

5、之昌院へ使者

6、諸山御守札

7、1、15、年頭申渡詰式之類（九）

十二己丑日 晴

1、式日寄合

2、式日論語

3、各奉行誓詞

十三庚寅日 晴

4、5、6、御花畑平地之雪二尺三寸八歩（三）

1、5、15、八幡林に於て吉兆雨（一五）

十四辛卯日 晴

1、仏殿に於て祭礼

2、5、4、長勝寺参詣

5. 袋宮寺御守札
十五壬辰日 風雪

1. 装束祝

2. 蓮葉納

3. 諸御礼

4. 青森の雪の状況

5. 7. 御納戸役受取改めさせる旨

8. 御鷹

9. 北郭へ

10. 文昌院より使者

11. 江戸より菴脚

12. 御奉書

13. 参府覽登

14. 笛鼓御覽

15. 景務院より御守札

16. 外記登城

17. 文昌院へ御重を

十六癸巳日 賜 夜雪二寸計

1. 2. 御小姓組仰付らる

3. 4. 十八日の能の寺仰付けらる

5. 外記乗物御覽

6. 上方へ登せ米の件

7. 十八日の能見物

十七甲午日 賜

1. 5. 東照宮参詣

6. 式日論語

7. 仏殿年始の御備へ召上る

8. 式日寄合

9. 誓詞

10. 屋敷絵図到来

十八乙未日 賜

1. 5. 16. 御能(一六)

17. 文昌院より使者

18. 御鷹

19. 23. 御能役付之覽

24. 江戸より菴脚

25. 26. 公方より平蔵大親拜領

27. 年始名代の事

28. 29. 進物

30. 置髪の祝儀

31. 京都仙洞院出火の件(旧臘廿七日)

32. 33. 江戸火事の事(一七)

十九丙申日 賜

1. 庄右江村に書簡

2. 平蔵拜領の願、文昌院へ

3. 全御礼

4. 平蔵より年始祝儀

5. 全文昌院へ

6 御料理

8 寒山銀山

9 御鷹

10 百姓乱気の件

廿四日 晴 一夜雪

1 相段甲付

2 湯治願

廿一 戌戌日 賜

1 御目見

2 御札

4 5 御目見

6 文書院へ使者

廿二 己亥日 大風

1 伝馬寮社

2 3 5 長勝寺参詣

6 式日論語

7 式日身合

8 外記登城

9 御鷹

10 文書院へ使者

廿 最勝院 風上寺より御守札

廿一 式書、年頭之御傳代帳出す

廿三 庚子日 風雪

廿四 千詣之音伴引取續

2 養生の爲、上方登の願

3 養生中御役銀差上發

4 御直具預之事

5 文書院より使者

6 文書院へ使者

7 才村空之助宅訪問の件

8 3 抜袴切取取放の事

10 御供御覽

11 江戸へ御脚

12 土蔵、主殿へ年始の祝儀

13 御鷹

14 奉定へ逆判

15 空右江門へ逆物

16 奉定より御札

17 御鷹

18 文書院より使者

廿四 辛丑日 (天候なし)

1 又往悦まる

2 庄右江門まり対顔

3 百沢寺より御守札

〔荒井清明・服名庫一・小館素三・佐藤 仁・

宮崎直生